

JBCC、AI 活用に向けたデータ分析基盤構築の検証支援を開始

Microsoft Fabric を活用し、製造業向けに実データでの検証支援から全社活用を見据え伴走

IT サービス業の J B C C株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：東上 征司、以下 J B C C）は、企業の生成 AI 活用によるデータ分析を支援するため、AI を搭載した統合データプラットフォーム Microsoft Fabric を活用し、データ分析基盤の構築・検証を無償で支援するサービスを開始します。本サービスでは、お客様の実際の業務データを用いた短期間の検証を通じて、生成 AI を活用したデータ分析の効果や有効性を確認し、実業務における成功体験を得ることができます。さらに、検証で得られた成果をもとに対象業務や利用部門を拡大することで、全社的なデータ活用と AI 活用の定着・拡大を支援します。

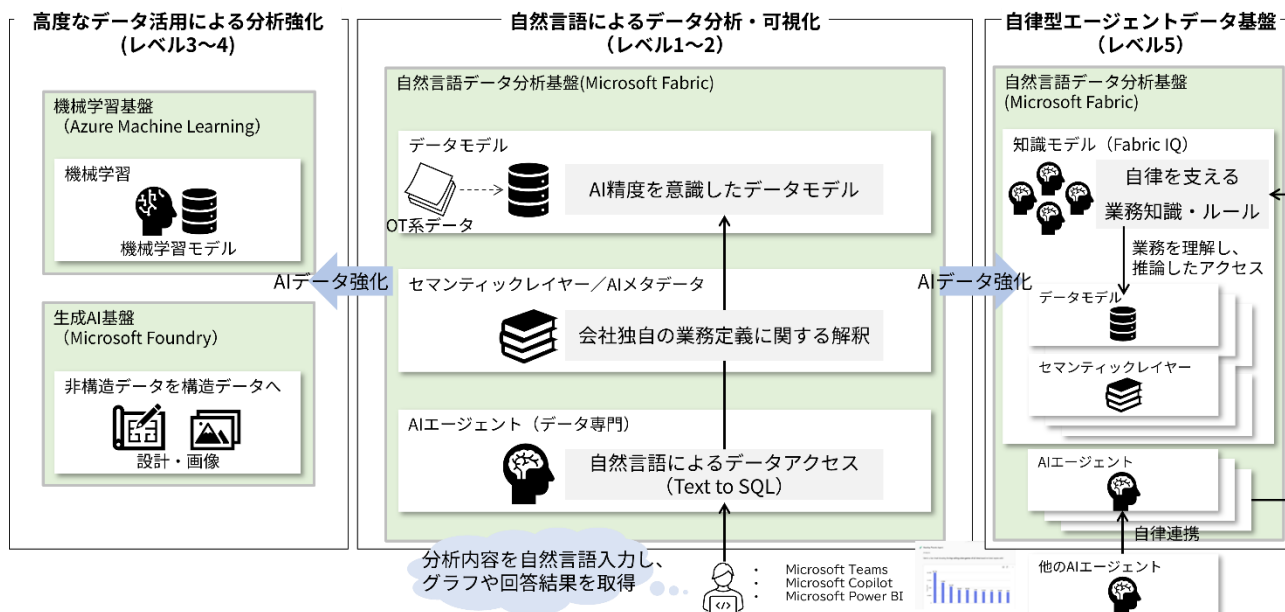
企業に蓄積したデータを高度に活用したいというニーズは多くあり、生成 AI の登場で、自然言語によるデータ分析実現への期待が高まっています。各企業で検証の取り組みが進んでいますが、多くのお客様では AI によるアウトプットが業務活用の期待値に至らず本番運用に進めないケースが少なくありません。アウトプットの精度向上には、AI が正しくデータを理解するための定義が重要です。

本サービスは、J B C Cがお客様の実際の業務データを用いて、生成 AI 活用に必要なデータ分析基盤構築と、AI によるアウトプット精度向上のためのデータ定義を行い、分析結果までをお客様と共に検証するサービスです。まずは、OT データ*等の膨大なデータが蓄積されており、効果を確認しやすい製造業を中心に提供開始します。優先度の高い検証ケースを1つ選定し、最短2～4週間で無償検証を実施します。

*OT データ：Operational Technology Data = 製造設備や生産現場で発生する生産データ、設備稼働データ、品質データなど

データ分析基盤には Microsoft Fabric を採用します。Microsoft Fabric は、データ統合から分析、可視化、AI 活用までを単一のインターフェースで実現できる統合データプラットフォームです。これまでデータ分析基盤を保有していなかった企業でも、短期間で生成 AI 活用に着手することが可能になります。Copilot in Microsoft Fabric がインターフェースに統合されており、自然言語によるデータクレンジングや分析が可能で、専門的な分析スキルを持たない現場担当者でもデータ活用・分析を進めることができます。

■ Microsoft Fabric を用いた生成 AI 活用イメージ



■ AI活用ステージ別 伴走支援サービス構想

AI活用段階と各ステージの想定期間	本サービス適用範囲		レベル3	レベル4	レベル5
	レベル1	レベル2			
	スモールスタートの検証実施 ※無償 2~4週間	実証検証 ※環境利用料のみ必要 2ヶ月	本番活用フェーズ	非構造データ連携、機械学習によるデータ分析の高度化	自律型AIエージェントのデータ基盤への発展
JBCCの提供サービスと支援内容	各業種向けAI分析スタート支援サービス ※2026年7月 製造業OTデータ分析から提供開始		AI活用プラットフォーム構築・設計 伴走支援サービス		伴走支援サービス
	- 顧客業務の理解に基づく1ケース検証 - AI活用計画の共同作成	- 検証範囲の拡大 - 検証環境構築 - 本番フェーズ準備	- 本番環境設計・構築 - AI活用の高度化の準備支援 - ガバナンスルール策定	- 非構造データ連携実装 - 機械学習等の高度なAI活用策の設計・実装 - 自律型AIエージェント基盤構築に向けた準備	- 非構造データ連携実装 - 機械学習等の高度なAI活用策の設計・実装 - 自律型AIエージェント基盤構築に向けた準備

■ 利用イメージ

たとえば、Microsoft Fabric のインターフェース上に配置された Copilot in Microsoft Fabric のチャット欄に、品質管理の担当者が「先月、不良率が上昇した原因を分析して」と入力すると、関連する設備稼働データや品質データが横断的に分析され、特定設備の稼働条件と不良発生率の相関グラフが自動で生成されます。事前の検証事例では、従来 Microsoft Excel や BI ツールを用いて、1週間以上の時間と専門的なスキルを要していた分析が、自然言語のやり取りだけで、誰でも数分で実施できるようになりました。

■ 今後の展望

J B C Cグループでは、AI活用基盤「AI Orchestration Platform (AIOP)」を構築し、AI エージェントやデータ分析など、企業が継続的にAIを活用するための機能群の整備を進めています。本サービスは、AIOPを構成するサービスの一つです。今後は、対象業種の拡大、より高度な活用フェーズへの対応を進めていきます。さらに、他のAIソリューションを活用したサービスも予定しています。

■ 日本マイクロソフト株式会社様からエンドースメント

日本マイクロソフト株式会社は、J B C C株式会社様による Microsoft Fabric を活用した生成AI向けデータ分析基盤構築支援サービスの開始を歓迎いたします。AI活用の成功には、信頼できるデータ基盤の整備が不可欠です。J B C C株式会社様は Microsoft Fabric と Copilot in Microsoft Fabric を活用し、お客様の実データに基づく迅速な検証と価値創出を支援されます。本取り組みが製造業をはじめとする幅広いお客様のAI活用を加速し、ビジネス変革の実現につながることを期待しています。日本マイクロソフトは今後もJ B C C株式会社様との協働を通じて、お客様のデジタルトランスフォーメーションを支援してまいります。

日本マイクロソフト株式会社
執行役員 チャネルパートナー統括本部長
三野 達也 氏

■ J B C C株式会社について <https://www.jbcc.co.jp/>

クラウドサービスを中心にシステムの設計から構築、運用までを一貫して手掛けるITサービス企業です。超高速システム開発を特長とし、セキュリティ・AI等のサービスとともに、お客様のシステムの課題を技術力とスピードで解決します。J B C C株式会社は、J B C Cホールディングス株式会社（代表取締役社長：東上 征司／本社：東京都中央区）の事業会社です。

※Microsoft、Azure、Microsoft Teams、Power BI、Excelは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

<本件に関するお問い合わせ>

- 報道関係の皆さま J B C Cホールディングス株式会社 広報
長谷川/宮根 Tel:03-6262-3233 E-mail: jb_info@jbcc.co.jp
- お客さま J B C C株式会社 ソリューション事業 マーケティング本部
和田 E-mail: mktg@jbcc.co.jp